

第2期「日野市食育推進計画」の策定にあたって

日野市では、市民一人ひとりが心身ともに健康に生きてゆく指針として、平成19年度に「日野市食育推進計画」を策定し、この計画を着実に実施するため、平成20年には「日野市みんなですすめる食育条例」を制定いたしました。

このことにより、農産物の生産と食を身近に感じることができる日野市の特色を生かした『日野市ならではの食育』を市民、行政、関係団体が一体となって推進してまいりました。

一方、わが国では、食の安全性の問題や朝食の欠食などの食習慣の乱れに起因する肥満や生活習慣病の増加、家庭の態様の多様化による孤食の増加など依然として多くの課題を抱えています。

このような状況の中、国では、これまでの食育の成果と食をめぐる諸課題を踏まえ、今後も引き続き食育に関する施策を総合的かつ計画的に推進していくことを目的とした第2次食育推進計画を平成23年3月に制定しました。日野市においても、食育推進計画の策定から5年が経過し、食育施策の評価検証をする中で、これまでの成果や今後見直すべき点が明らかとなりました。

「食」はわたしたちの生活を支える基本であり、命の源であります。生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性をはぐくむためには、子どもから高齢者にいたる各世代が、あらためて食と向き合い、食について考え、食に関して正しい選択をする力を身に付けることが重要であると考えています。

これらのことを実現し、次世代へ受け継いでいくためには、今後も食に関わるすべての関係者が、同じ目標に向かって取り組まなければなりません。そのための指針として『第2期日野市食育推進計画』を策定いたします。

本計画を推進し、確実に実行していくためには、家庭、地域、事業者、関係団体の皆様と行政との協働が必要不可欠です。市民の皆様におかれましても、ご理解、ご協力をお願いいたします。

最後に、本計画の策定にあたり、ご尽力をいただきました食育推進会議の委員の皆様をはじめ、貴重なご意見を賜りました市民ならびに関係者の皆様に心より感謝申し上げます。



平成24年6月

日野市長

馬場弘融

目 次

はじめに	1
第1章 「第2期日野市食育推進計画」の基本方針	2
1 計画の目的	2
2 計画の位置づけ	3
3 計画の期間	3
4 計画の推進体制	4
5 計画の進行管理（評価）	5
第2章 これまでの成果と食育の現状と課題	6
1 家庭における食育の推進	6
2 学校、児童館、保育所などにおける食育の推進	13
3 地域における食育の推進	22
第3章 基本理念と重点推進事業	36
1 基本理念	36
2 重点推進事業	36
第4章 具体的な施策の展開	38
1 家庭における食育の展開	39
2 保育園、幼稚園、学校、児童館などにおける食育の展開	43
3 地域における食育の展開	50
資料編	56

はじめに

日野市では、市民一人ひとりが心身ともに健康に生きてゆく指針として、平成20年（2008年）3月に「日野市食育推進計画」を策定し、「家庭」「学校・保育所・児童館などの施設」「地域」のそれぞれにおいて日野市の特色を生かした『日野市ならではの』の食育を推進してきました。また、この計画を着実に実施していくため、平成21年（2009年）3月に「日野市みんなですすめる食育条例」を制定しています。

食をめぐる現状としては、依然として国内外の食の安全性に関わる問題や食習慣の乱れに起因する問題、食を大切にする心の希薄化や食に関する地域の文化や伝統が失われつつあるなどさまざまなことが問題となっています。

そして、平成23年3月11日の東日本大震災を原因とする原発事故による放射能汚染問題により、流通する食品の一部では安全性が深く心配されるようになっていきます。

一方、震災を契機として人と人との「絆」、家族の「絆」の大切さが改めて注目されています。「絆」をつなぐひとつの方法としてだれかと食卓を囲むことの重要性がより見直されています。

食は誰もが毎日経験する最も身近な事柄であるとともに、命や健康に関わる最も重要な事柄であると言えます。また、豊かな人間性の形成や家族のつながりなど、豊かな心をはぐくむためには欠かすことのできないものです。

日野市が推進する食育とは、すべての市民が心もからだも健康で、豊かに生きていくための「食育」なのです。

これまで日野市が推進してきた食育の成果と課題、食をめぐるさまざまな現状や時代の変化を踏まえ、今後も食育を通して、すべての市民が幸福感をもって暮らすことができるよう平成24年度から平成28年度までの5年間を期間とする第2期日野市食育推進計画を策定します。